

小学校指導事例発表

第4学年 「体の発育・発達」

(イ)思春期の体の変化

狭山市立笹井小学校 教諭 田中 絢子

(授業時:入間市立高倉小学校 教諭)

学校の概要

入間市立高倉小学校

- 開校 42周年
- 児童数 240名
- 学級数 12学級(特別支援学級2クラス)
- 学校教育目標

「笑顔いっぱい 喜びが得られる 地域の中にある学校」

・進んで学ぶ子 ・なかよく協力する子 ・健康でねばり強い子



背景



実践①



実践②



成果と課題

本日の流れ

- 1 背景: 授業に向けて
- 2 実践①: 研究授業内容(第2時)
- 3 実践②: 単元を通じた授業の様子
- 4 成果と課題

背景

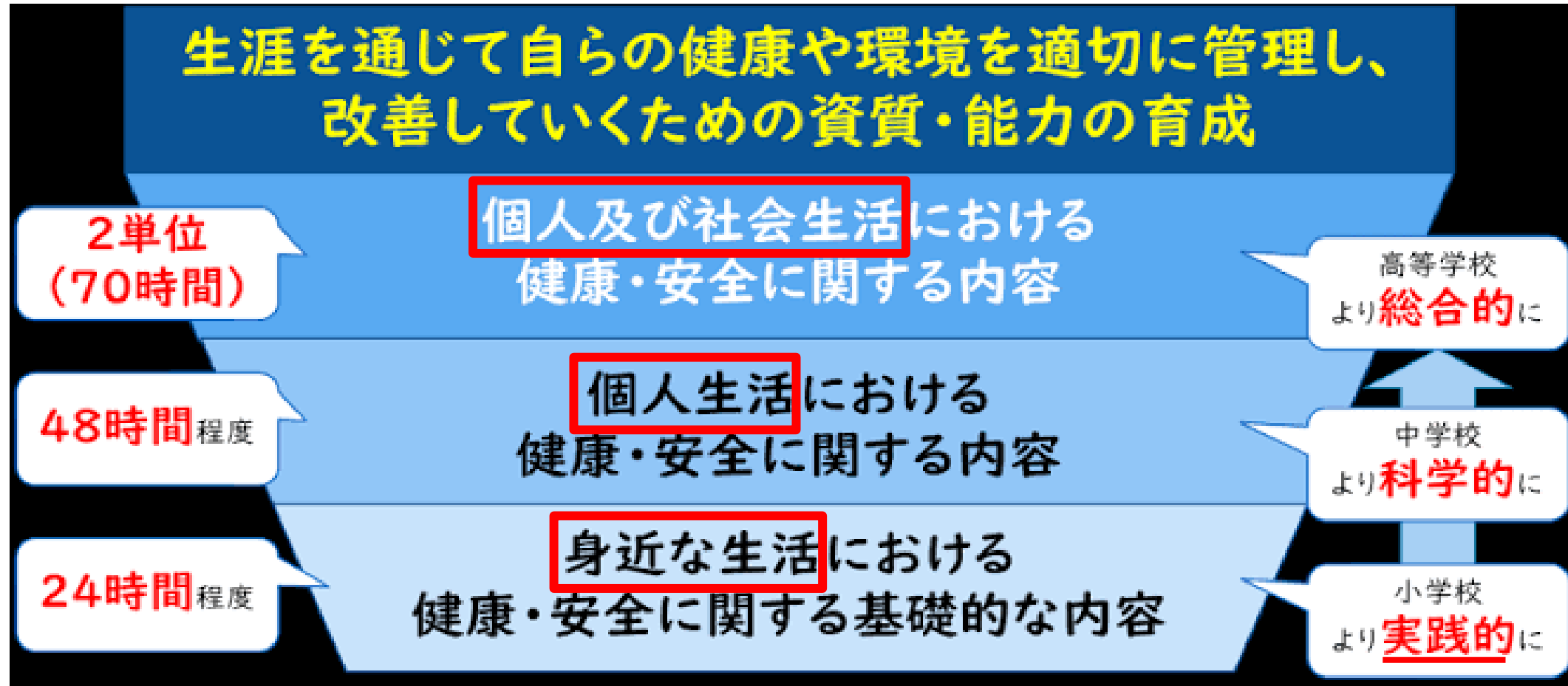
実践①

実践②

成果と課題

学習内容の系統性

ー保健における体系イメージー



背景

実践①

実践②

成果と課題

指導内容の明確化

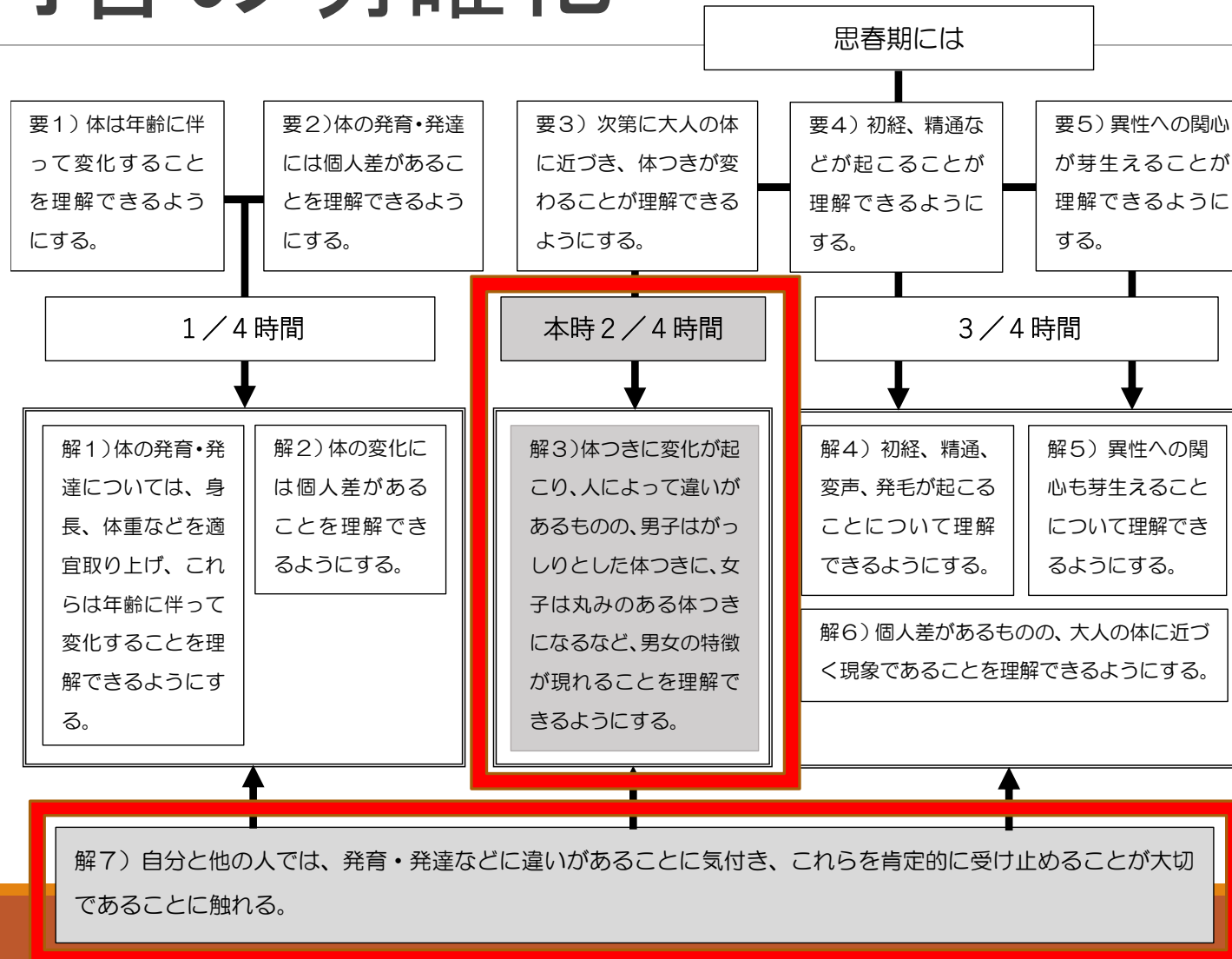
2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

(イ) 思春期の体の変化

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



背景



実践①



実践②



成果と課題

授業実施の日程

時期	内容
7月中旬	児童へのアンケートの実施・実態把握
10月28日(火)	第1時 育ちゆくわたしたちの体
10月31日(金)	第2時 思春期にあらわれる変化（体にあらわれる変化） 本時
11月17日(月)	第3時 思春期にあらわれる変化（体の働きの変化・心の変化）
11月18日(火)	第4時 よりよく成長するための生活
授業後～	事後指導（家庭生活、学校生活）

背景

実践①

実践②

成果と課題

児童の実態

－アンケート結果－

令和7年7月実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか。	19	1
2 健康は大切だと思いますか。	20	0
3 大人と子どもの体はどのような所がちがうと思いますか。	体の大きさ、手の大きさ、体力など	
4 男の子と女の子の体はどのような所がちがうと思いますか。	声、体の柔らかさ、力、のどなど	
5 自分の体が大人に近づいているなと感じることはありますか。	15	5
6 体の変化について恥ずかしいと思いますか。	2	18
7 異性の友だちと話すとき、恥ずかしくなることはありますか。	0	20
8 異性の友だちにちょっかいを出しておこられたことはありますか。	3	17
9 自分の体について学習することは大切だと思いますか。	20	0
10 保健の学習で知りたいことはありますか。	生まれてから身長が何cm伸びたのか 男の子の体と女の子の体はどうして違うのか	

背景



実践①



実践②



成果と課題

本時の授業(2/4)

【導入】

〈体つきクイズ〉

赤ちゃん、子供、大人のシルエット写真を順に示して大人になるにつれて変化が分かりやすくなることに気付かせる。また、「なぜ、男女の体つきの変化について学習するのか」を問い、課題を焦点化する。



〈本時の課題〉

思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。

【まとめ】(習得②)

- 思春期に起こる体の変化は、男子はがっしりした体つきになり、女子は丸みのある体つきになる。
- 思春期に起こる体の変化には、個人差がある。

【展開2】(活用①)

〈ケーススタディ〉

- ①「時間がないから」と言って、周りの目を気にせず教室で服を脱いで着替え始めるAさんがいた。
- ②自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育測定や内科検診などを嫌うBさんがいた。
- ③友達の体をぺたぺたと触るCさんがいる。



1つのグループにつき、無作為で選んだ1つのケーススタディに取り組む。
Aさん、Bさん、Cさんのためになる言葉かけをグループで考える。



全体で共有する。

評価【思考・判断・表現】(観察・ワークシート)

体の発育・発達について身長や体重など年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけている。【思考・判断・表現】

背景



実践①



実践②

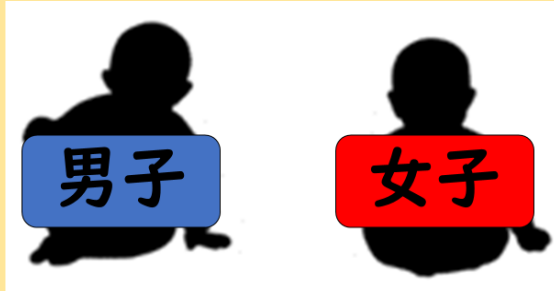


成果と課題

導入 一体つきシルエットクイズー

第1問

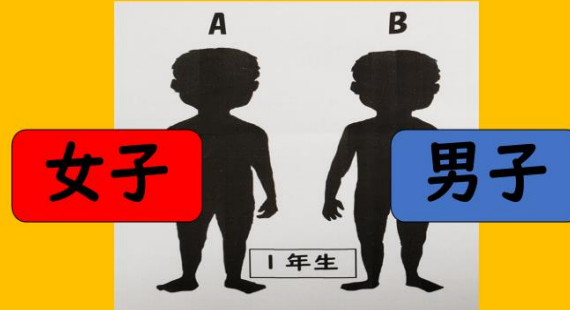
どちらが男子でどちらが女子でしょう？



赤ちゃん

第2問

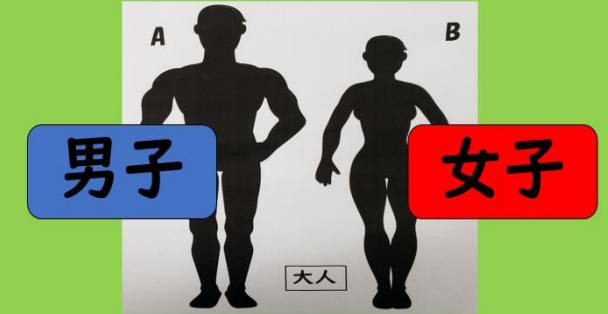
どちらが男子でどちらが女子でしょう？



小学生

第3問

どちらが男子でどちらが女子でしょう？



大人

ちがいが分かりにくい

ちがいが分かりやすい

背景



実践①



実践②



成果と課題

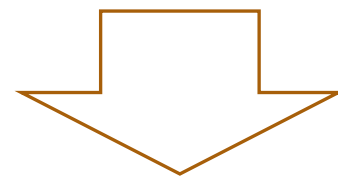
導入 —発問—

どうして大人になると、「体つき」の変化が分かりやすいのだろうか？

どうして男子と女子で「ちがい」が出てくるのだろうか？

どうして「男女の体の成長」について学習するのだろうか？

学習の必要性を
意識させる問い



本時の課題の
焦点化

背景



実践①



実践②

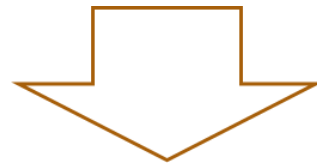


成果と課題

展開①

本時の学習課題

思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。



- ・思春期の体に現れる変化の予想・・・オクリンクプラスの活用（ICT）
- ・プライベートゾーンについて知る・・・生命の安全教育の動画の視聴（文部科学省）

知識の習得！！

背景



実践①



実践②



成果と課題

展開①

ーオクリンクプラスの活用ー

主たる学習内容(知識)

- ・思春期の体つきの変化には、男女差、個人差があること。
- ・思春期には、体つきのほかにも変声や発毛などの変化が表れること。



- 短時間で活動できる工夫
- 全員が取り組める工夫

背景



実践①



実践②



成果と課題

展開① —生命の安全教育の動画視聴—

生命の安全教育 動画教材 「じぶんだけのたいせつなところ」(2分30秒)



知識の活用へと繋げる

背景



実践①



実践②

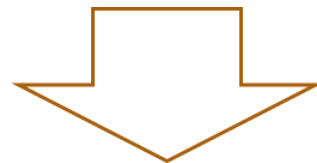


成果と課題

展開②

本時の学習課題

思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。



- ・自分ごととして捉える考える活動・・・ケーススタディ

知識の活用！！

背景



実践①



実践②



成果と課題

展開② ケーススタディー

☆ **自分たちの体を大切にする方法**をグループで考えよう！

ケース①

「時間がないから」と言って、周りの目を気にせずに教室で服を脱いで着替え始めるAさんがいた。

ケース②

自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育測定や内科検診などを嫌うBさんがいた。

ケース③

友達の体をペタペタと触るCさんがいる。

Aさん、Bさん、Cさんのためになる言葉がけを考えよう！

背景



実践①



実践②



成果と課題

展開② ケーススタディー

☆グループワークの様子

T : Aさん、Bさん、Cさんのためになる言葉がけを考えよう！

考える視点を与える発問を意識

C : 前段で習得した知識を使って言葉がけを考える。

1グループにつき、1つのケースを考える

T : 全体で考えを共有しよう！

ちがうケースに対する考えを知る

やってしまった側、やられた側、見ていた側など
それぞれの立場に置いてできたことは何か考え、
学びを広げる

ケース①

「時間がないから」と言って、周りの目を気にせずに教室で服を脱いで着替え始めるAさんがいた。

☆Aさんのためになる言葉がけを考えよう！

1班・・・「時間がない」からと言って、ほかの人に見せてはいけないところがあるから、学習室（本校の更衣室）で着替えてね。

4班・・・時間がなくても、着替える教室でちゃんと着替えるんだよ。
人には見せてはいけない所があるから、着替える場所で着替えるんだよ。

ケース②

自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育測定や内科検診などを嫌うBさんがいた。

☆Bさんのためになる言葉がけを考えよう！

2班・・・体の発達には個人差があるし、
友達よりも発達が早くても気にすることはないよ。

6班・・・体が全く同じな人はこの世に一人もいないからきっと大丈夫だよ。

そっとしておいてほしいかも・・・
でも、相談されたら・・・

気にしてるから
声をかけられない方がいいのかなあ・・・

ケース③

友達の体をペタペタとさわるCさんがいた。

☆Cさんのためになる言葉がけを考えよう！

3班・・・さわったらだめだよ。相手にも、自分にも、大切なものがあるからね。

自分がされて嫌なことは、友達にもしてはいけないよ。

自分も急にさわられたらびっくりするよ。

5班・・・自分が嫌なことを友達にやってはいけないよ。

体をさわると嫌な人もいるからやってはいけないよ。



児童の振り返り



1本の成長を知って、男女のちがいが、
男子と女子がきがる時に、4年生に
なってから分けるのは、1本が成長して
いるからなんだと思いました。



思春期に起こる体の変化は大人に近づい
ているということがわかった。
プールに入るときに水着を着る理由は前から
だいたい知っていたけれど、しるがけとした
理由を知ることができた。発達がおそくても
早くても心配することがないことがわかった。

生活経験に結び付けて振り返ることができた！



第1時

＜導入＞身長クイズ



＜展開①＞身長の伸び調べ（すくすくテープ）



＜展開②＞ケーススタディ



第3時

＜導入＞はやいおそいクイズ



＜展開①＞体の働き調べ（オクリンクプラス）



＜展開②＞ケーススタディ



第4時

＜導入＞はやいおそいクイズ



＜展開①＞体の働き調べ（オクリンクプラス）



＜展開②＞ケーススタディ



成果

○知識の習得→活用のルーティーン化

→単元を通して取り組めたため、児童がスムーズに学習できた。

○オクリンクプラス(ICT)の活用

→全員が学習に取り組むことができ、予想を立てることができた。

○グループ別ケーススタディの実践

→授業の前段で得た知識を活用しながら解決法を考えることができた。



課題

○生命の安全教育とのつながり

→保健の学習のねらいに沿いながら、学びを深め、より実践的に。

○養護教諭や外部講師などの専門性を持った方々の活用

→さまざまな人の考えを聞くことで「性」への関心や知識を深められる。

○限られた時間での習得

→今後の生活で生かしていけるような継続的な取り組みや指導。